

家康公の相棒!スポット

天下統一のための戦いを繰り返していた家康公には鍵となる重要な相棒がいた。
遠州攻めの協力者、拠点となる重要な城の城主、優れた才覚を持つ側室のゆかりのスポットへ。



今川を裏切り徳川に協力

井伊谷三人衆

家康公の遠州攻めの際に、今川氏真から徳川方へ離反した近藤康用、菅沼忠久、鈴木重時の3人の武将のことをいう。

静岡・浜松

1 龍潭寺

庭が美しい井伊家ゆかりの寺

徳川四天王でもある24代当主の井伊直政など、井伊家の歴代当主が眠る菩提寺。家康公の遠州攻めを先導した井伊谷三人衆の墓所もある。小堀遠州作の庭園が有名で、典型的な寺院庭園として貴重なものとされている。

☎053-542-0480 ①静岡県浜松市北区引佐町井伊谷1989 ②9:00~16:30 ③12月22~27日 ④1500

長篠・設楽原の戦いの功績で出世

奥平信昌

長篠・設楽原の戦いから城を守った長篠城主。その翌年に新城を築き、家康公の長女龜姫と結婚した。

捕虜解放の後も家康公に使える

菅沼定盈

桶狭間の戦い後に徳川方についた野田城主。武田軍の捕虜となったが、一貫して家康公に仕えた。

愛知・新城

3 長篠城跡 (長篠城址史跡保存館)

ながしのじょうあと(ながしのじょうしせきほさんかん)

長篠・設楽原の戦いをじっくり見てみよう

長篠・設楽原の戦いに関する資料の保存展示を行う。武田軍の状況、決戦前夜の様子、兵糧攻めによる籠城、鳥居強右衛門の活躍に関する展示などで戦いの構図を解説。長篠城の攻防と設楽原の決戦の様子がよくわかる。



☎0536-32-0162 ①愛知県新城市長篠字市場22-1 ②9:00~17:00(入館~16:30) ③火(祝日の場合翌平日) ④¥220

愛知・新城

2 野田城跡

のだじょうあと

信玄最後の戦があった野田菅沼氏の居城

三方ヶ原の戦いの翌年にあった野田城の戦い。城主の菅沼定盈は降伏して捕虜になるが、人質交換で野田城主に戻る。信玄はこの戦い後に甲斐へ戻る途中で死亡したとされ、野田城は信玄の最後の城攻めの地となった。



☎0536-22-0673(設楽原歴史資料館) ①愛知県新城市豊島字本城地内 ②9:00~17:00(設楽原歴史資料館) ③周辺自由



全幅の信頼を得ていた才女

阿茶局

政治力や武術にも優れていた家康公の側室。特に太坂冬の陣では和議の使者として活躍した。

静岡・浜松

4 甘露寺

阿茶局に会う際に家康公が訪れた寺

臨濟宗方広寺派の古刹。阿茶局が寺の西側にある鈴木家に預けられていたため、浜松に在城の家康公は寺の境内を好んで訪れたという。本堂前の庭にある古梅に、家康公が「未開紅甘露梅」と名前をつけたという逸話も。

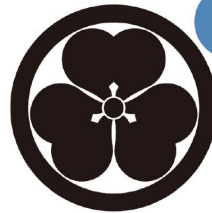


☎053-434-5320 ①静岡県浜松市東区中郡町1026 ②④境内自由

徳川最強の有力武将

徳川四天王

家康公に一生の忠誠をつくり、その活躍から家康公に重用された、酒井忠次、榊原康政、本多忠勝、井伊直政の4名の武将を徳川四天王と呼ぶ。江戸幕府の設立にも貢献した彼らと家康公のつながりを見てみよう。



1527
1596

代々松平家に仕えた 徳川家の最古参の側近 酒井忠次

現在の愛知県岡崎市に生まれる。家康公の駿府での人質生活にも同行し、吉田城主を任されるなど家康公の信頼が厚い。長篠・設楽原の戦いで嵩ヶ嶽山の奇襲を信長に進言するなど、有能な軍師。



1548
1606

秀吉を心底怒らせた 知略で勇猛果敢な武将 榊原康政

現在の愛知県豊田市に生まれる。一向一揆の武功により、家康公の「康」の字を与えられる。小牧・長久手の戦いでは、豊臣秀吉の批判を記した書面をばら撒き奇策で秀吉の怒りを買った。



1548
1610

その生涯で一度も刀傷を 負わなかったとされる猛将 本多忠勝

現在の愛知県岡崎市に生まれる。戦略に長け、武田の家に「家康に過ぎたものが二つあり、唐の頭に本多平八」と称されるなど、家康公はもちろん、信長や秀吉からも認められていた。



1561
1602

赤い甲冑の軍団を率い 井伊の赤兎として恐れられる 井伊直政

現在の静岡県浜松市に生まれる。女城主井伊直虎を後見に成長し、家康公が小姓として召し出される。旧武田家臣で構成した軍団は「井伊の赤備え」と呼ばれ、直政は「赤兎」と恐れられた。

6
人の心を掴む力と、
信頼で味方につける

三河・遠州 相棒! 家康街道

ピンチの時に頼りになった徳川四天王をはじめ、戦いのキーマンとなる人物を味方にしてきた家康公。壮絶な合戦の裏側にあるストーリーのなかでも、周囲の人物にスポットを当てて家康公を見てみよう。

家臣団の結束を基盤に
仲間を得て天下統一へ

家康公の家臣団には、家康公が人質から戻った時に困らないように節約して財を貯めたという逸話が残る。天下統一を目指す家康公を支えていたのは、強者揃いの徳川四天王をはじめとした家臣団の結束力だったといえる。また戦に強かったとされる家康公には、様々な場面で武将、側室、商人などの協力者が現れている。幼い頃からの苦学人である家康公は、そのせいか堅実なタイプと言われる。その堅実さが魅力となり、人を味方につけることができたのではないだろうか。